



2006～2007 年度

地域交流活動報告書

2008 年 3 月

杏林大学
地域交流委員会

目 次

1. 大学における地域交流活動の背景と目的と杏林大学	2
2. 地域交流委員会主導による活動	4
3. 八王子“地域共創”フォーラム 2007 の開催	8
4. 2006～2007 年度の八王子 3 学部・事務局主体による主な地域活動事例	10
5. 次年度以降の課題	21
6. 2006～2007 年度 杏林大学地域交流委員会メンバー	22

1. 大学における地域交流活動の背景と目的と杏林大学

1-1. 大学が地域交流活動に注力する背景

大学による「地域との交流」は、大学間の競争の激化、旧国立大学の独立法人化、地方への財源・権限の移譲などを背景として、文部科学省の『地域貢献特別支援事業』の予算支援を受けてにわかに活発化してきている。特に、これまで主な支援の対象となされた旧国立大学では、広島大学や神戸大学などのように地域貢献に非常に熱心なことで近年知られるようになった大学もあり、地域との連携に生き残りの可能性を見いだそうとするこのような大学も出てきた。

1-2. 私大の地域交流事業のモデル・ケース

文部科学省は、私立・公立大学についても予算支援の対象とするべく方針転換を行ったが、その規模や研究の先端性・専門性などの違いから、旧国立大学と私立大学では「地域交流」の目指す姿は、自ずと異なっている。

本学の参考とすべき先例としては、大東文化大学が挙げられる。同大学は、本学とほぼ同じ偏差値レベル（特に外国語学部とは競合関係にある）にある首都圏の私立大学のうちで地域交流の面で実績を有している数少ないケースである。

「地域社会に開かれた大学」を基本方針に据える大東文化大学は、研究・教育の成果を地域社会に還元することで地域交流を積極的に展開しており、特に『地域デザインフォーラム』の名称で2000年に地元板橋区と正式な協定を交わすなど、法学部・経済学部・経営学部の教員を中心に着実に活動を続けている。

1-3. 本学の地域交流事業の現状

一方、八王子周辺地域に限ってみれば、これまでの本学の地域交流事業は、いわば実験段階にあり、ほとんど手つかずの状態にあった。『八王子市学園都市大学』において、各学部の教員が自らの専門領域にかかわる講義を行う他は、体系的な地域交流事業はこれまで存在しなかった。

1-4. 地域交流委員会・地域交流支援室の設置

2005年12月に策定された『杏林大学 中長期改革に関する提言』（2005年12月）において、八王子キャンパスの存続を前提とした「特色ある総合大学」となるために、「地域との交流による特色ある大学作り」を実施することが求められている。その具体的な方策としては、三鷹・八王子キャンパスにおいて、地域の様々な主体が実施している既存の各種事業へ参与すること、さらに大学独自の新規事業立ち上げを行うことの2点が示されている。

それをふまえ、2006年度より、八王子キャンパス内に『地域交流支援室』（職員主体）および『地域交流委員会（保健学部・総合政策学部・外国語学部の教員及び八王子事務部、広報・企画調査室・地域交流支援室の職員で構成）』が設定され、2007年度までの任期で活動を行ってきた。

1-5. 2006～2007年度における地域交流委員会・地域交流支援室の活動方針

地域交流委員会・地域交流支援室の設置目的として、中長期計画においては「地方自治体や商工会などと連携を取りながら地域交流・連携活動に関する地域の要望や学内の活動情報を一元的に把握し、大学のもつ人的・知的資源を効率良く活用することによって地域社会により有益な貢献をし、本学に対する地域住民の理解をさらに深めること」が挙げられている。

それをふまえて、2006～2007年度は、主な活動のフィールドを八王子キャンパス周辺地域、主な活動主体を八王子キャンパス3学部とした上で、以下の5点を活動方針とした。

- ① 八王子市における既存の産学公連携の場への乗り込み
- ② 八王子市役所が主体となっている新規事業への乗り入れ
- ③ 八王子市以外の周辺市町村における活動可能性の模索
- ④ 本学主催による地域交流事業の展開
- ⑤ 本学でこれまで行われてきた個々の地域交流事業の集約

2年間の活動において上記5点の活動をほぼ実施しており、その個別具体的内容については本報告書に詳細に記載した。

1-6. 本学の地域交流事業の将来的目標

本学が地域交流事業に取り組むに当たっての、将来的な目標としては、学園の教職員および学生が八王子市を中心とする周辺地域のコミュニティの発展に寄与することにあるが、この活動を通じて、以下の点も推進できると考える。

- ① 八王子キャンパスの存在感を強め、その社会的認知度を高める。
- ② 学生が「杏林大学生」としてのアイデンティティを確立する。
- ③ 地域との連携を強めることで大学の生き残りを図るという目的を達成する。（競争的研究費の獲得など）

こうした大学により地域交流活動は、「コミュニティ・ビジネス（＝地域社会が必要とするサービスや物財を営利目的に偏らず、きめ細かく継続的に提供する事業）」の一形態であるが、今後、経済・文化・情報・価値意識の地球規模での一体化が進行すると同時に、地域レベルでの、または地域間の経済活動・市民の連帯・文化の多様性などが顕著になってゆく傾向が強まる中で、すなわち「グローカリゼーション（glocalization）」の時代にあってその重要性を増すであろう。

2. 地域交流委員会主導による活動

2-1. 道の駅「八王子滝山」オープニングイベントへの学生参加（活動内容：1-5・②）

本学八王子キャンパスに程近い八王子市滝山町の新滝山街道沿いに2007年4月1日、道の駅「八王子滝山」がオープンし、これにあわせて学生のイベントへの参加を行った。この道の駅「八王子滝山」は遠方から訪れるドライバーと市民や地元の人たちが交流を深めていく拠点として八王子市が計画を進めていたもので、都内では初めての「道の駅」となった。

オープン初日にはオープニングイベントのひとつとして、地元大学生によるパフォーマンスショーが行われ、本学からはダンスサークル「Slave to the Rhythm」が参加した。これは本学の地域交流委員会が道の駅のオープンに合わせたイベントへの協力を八王子市などと協議して計画を進めてきたものである。

ショーでは本学のダンスパフォーマンスが最初に行われたが、訪れた大勢の見物客の前で学生たちは日頃の練習で身に付けてきた技を十分に発揮して聴衆を魅了し、会場の雰囲気盛り上げることができた。

この道の駅「八王子滝山」では、外国語学部・岩崎公生教授のゼミが「観光コンシェルジュ」のこの春からの本格稼働にむけて2007年12月に4日間かけて試行を行うなど本学との連携がますます強化されている。



2-2. 八王子市市民活動推進部『伝統文化ふれあい事業』への参入（活動内容：1-5・②）

八王子市が2006年4月に策定した『八王子市文化振興計画』の重点取り組みとして、八王子市の伝統文化を地域資源として捉え、街中に伝統文化に触れる場所を設置し市民が伝統文化に触れる機会を創出することにより、地域資源の新たな発見と積極的な活用を図ることを企図した『伝統文化ふれあい事業』が2006年8月よりスタートした。その実行委員会の委員長として、外国語学部（地域交流委員会委員長）・遠山菊夫教授が就任し、地域交流委員会として同事業への協力を積極的に行った。

具体的には、都の無形文化財に指定されている『八王子車人形』を中心とした各種伝統芸能の体験講座を市民、大学、学生などの協働による実施がなされ、外国語学部の学生が当該活動のサポートメンバーとして様々な活動を行い、その内容と結果について卒業論文としてまとめた。

2-3. 八王子産学公連携機構への参加（活動内容：1-5・①）

大学の知的財産と地域産業や地域活動の活性化につなげることを目的として設置された、八王子産学公連携機構には、本学から保健学部が参加していたが、2006年度より地域交流委員会の活動の一環として、新たに総合政策学部、外国語学部が参加することとなった。また、例年12月に開催される「研究成果発表会」及び「活性化アイデア発表会」に、2006年度は13、2007年度は10の研究室・ゼミナールが本学から参加した。2006年度および2007年度の活動の詳細は以下の通りである。

<平成18年度>

○ リエゾンプロデューサー

第1マッチング推進部会	保健学部	嶋津 秀昭 教授（副部会長）
	保健学部	岡田 洋二 助教授
第2マッチング推進部会	総合政策学部	進邦 徹夫 助教授
	外国語学部	遠山 菊夫 教授
	外国語学部	古本 泰之 講師

※ 当該年度、保健学部が「研究成果発表会」及び「活性化アイデア発表会」事務局を務めた。

○ 「研究成果発表会」及び「活性化アイデア発表会」参加研究室（指導教員）

● 保健学部

- 「間接的血压測定用ダイヤル締め付け式カフの開発」（嶋津秀昭教授）
- 「上腕および下肢の動脈血管硬化度の比較検討」（嶋津秀昭教授）
- 「睡眠時無呼吸症候群(SAS)の型判定まで可能な在宅型指先センサの開発に関する基礎的検討」（石山陽事教授・三谷博子講師）※優秀賞受賞
- 「乳幼児突然死症候群(SIDS)検出を目的とした無拘束型 SIDS 検出装置開発の基礎的検討」（石山陽事教授・三谷博子講師）※優秀賞受賞
- 「老人クラブに所属する高齢者の担う役割と主観的幸福観の関係」（近藤ふさえ助教授・鈴木麻美助教）※優秀賞受賞

● 総合政策学部

- 「福祉による過疎地域の活性化！」（田中信弘教授）
- 「八王子商店街魅力創造プラン」（田中信弘教授）
- 「CheepCandyLand 公園の活性化についての提案」（田中信弘教授）
- 「計画的に逝こう～予約もきちんとネ♪」（田中信弘教授）
- 「八王子におけるグリーンツーリズムの可能性」（進邦徹夫助教授）

● 外国語学部

- 「八王子伝統文化の世界への発信 インターネットを通じた八王子グローカリゼーション」の試み」（遠山菊夫教授）
- 「八王子市における夜景景観の観光利用」（古本泰之講師）※優秀賞受賞

- 「外国人を対象とした「案内板」表記における諸課題」(古本泰之講師)

<平成 19 年度>

○ リエゾンプロデューサー

第1 マッチング推進部会 保健学部 村椿 春博 准教授

保健学部 島 幸夫 准教授

第2 マッチング推進部会 総合政策学部 進邦 徹夫 准教授 (副部会長)

外国語学部 古本 泰之 講師

○ 「研究成果発表会」及び「活性化アイデア発表会」参加研究室 (指導教員)

● 保健学部

- 「滝山丘陵 (八王子市) の降水成分とその化学動態 16 年間の軌跡—酸性雨の犯人は何処に? (1991~2007 年)」(金子哲也教授・松塚雅博学内講師・関健介学内講師)

- 「乳幼児を対象とした心拍・呼吸動態の無拘束計測に関する検討 —ベビーカー搬送中の雑音抑制に関する基礎的検討」(石山陽事教授・三谷博子講師)

- 「居眠り検知を目的とした生理学的検出パラメータの検討」
(石山陽事教授・三谷博子講師)

- 「老人クラブに所属する高齢者の加齢イメージと生活満足度の関係」
(近藤ふさえ教授・鈴木麻美助教)

● 総合政策学部

- 「八王子大学生改善健康プラン」(田中信弘教授)

- 「同窓会プロデュース大作戦!!」(田中信弘教授)

- 「屋台レンタルプロジェクト フリーター、ニート問題へ新アプローチ」
(田中信弘教授)

- 「心のはちあわせ 思いがけない優しさとの出会い」(進邦徹夫准教授)

- 「子どもの新しい居場所作り—地域と家庭がふれあい協力しながら子育てするまち」(進邦徹夫准教授)

- 「エコバッグ八王子スタイル レジ袋の削減とエコバッグの推進」
(進邦徹夫准教授)

2-4. 初めて羽村市と連携して公開講演会を開催 (活動内容: 1-5・③)

これまで本学が実施してきた公開講座は、本学三鷹キャンパスで独自に実施するもの以外に、2004 年度から八王子市学園都市大学『いちよう塾』として公開講演会ならびに連続公開講座を、また 2005 年度からは調布市民会館『たづくり』を会場とした調布市近隣大学公開講座としての公開講演会を、さらに同年度後半からは『三鷹ネットワーク大学』に加盟して連続公開講座等を実施してきた。

2007 年度は地域交流委員会が、これまでの地域連携の対象地域を拡大することを目的として、

上記の3市以外との連携を図って公開講演会等を実施することをひろく多摩地域の自治体に働きかけた結果、羽村市生涯学習センター『ゆとろぎ』と連携して2回の公開講演会が実現した。第1回は羽村在住で本学前医学部長である小林宏行名誉教授、第2回は金田一秀穂外国語学部教授が担当して実施、当該地域における一般市民に杏林大学をよく知ってもらおう意味でも大きな成果を収めることができた。来年度以降もひきつづき他の市との連携関係を広げて公開講演会活動を拡充していく予定である。



3. 八王子“地域共創”フォーラム 2007 の開催（活動内容：1－5・④）

地域交流委員会は、八王子市の中心市街地の活性化に大学がどのような役割を果たすことができるかなどについて話し合う八王子“地域共創”フォーラム「八王子のまちづくりと大学の果たす役割」を2007年11月10日（土）、八王子市学園都市センターで開催した。

本学ではこれまで教員や学生がそれぞれ個別に地域と連携して教育支援や学生ボランティアなどのさまざまな活動を行ってきたが、今後は大学として組織的に地域連携の活動をすすめるため、その第一段としてこのフォーラムを企画・開催した。

このフォーラムは、八王子市の市民活動推進部学園都市文化課、健康福祉部、総合政策部市史編纂室の市役所の各課や商工会議所、八王子の伝統文化継承者で八王子車人形の五代目家元である西川古柳氏などの協力を得て開催することができた。

フォーラムでは、まず東北六県英語教育連絡会会長や文部省教科書調査官などを歴任した本学の谷口賢一郎客員教授が『国際化社会における有機的なまちづくりの課題』と題して基調講演を行った。このなかで谷口客員教授は、日本では大学が地域に溶け込んでいるとは言えないが、今国際化が進むなかでより一層地域と大学が一体化し、大学と町が共生する「まちづくり」が必要であると指摘し、海外での大学と都市が共生しているいくつかの事例を引用しながら、八王子市が取り組むべき「まちづくり」の要点を挙げ、地域と大学がよりいっそう強く連携してまちづくりに取り組む必要性を訴えた。

このあと地域と連携して活動を行ってきた教員や学生、それに市職員、地元の商店経営者などがパネリストとして2つのセッションに分かれてパネルディスカッションを行った。

セッションのテーマは、第1部が文化・産業の視点からのまちづくり、第2部は健康・人材育成の視点からのまちづくりについてで、それぞれパネリストがこれまで「まちづくり」にどう関わってきたかについて報告し、今後大学との連携でどのようにして八王子の中心市街地を活性化させるべきか、特に学生が集まるような商店街整備や観光資源の開発について活発な意見交換をした。

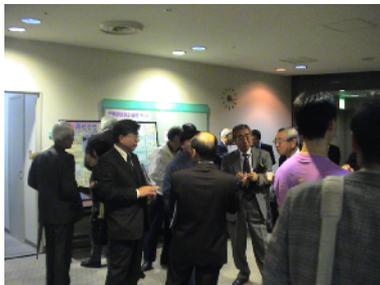
セッションの途中で黒須隆一八王子市長が会場を訪れ、壇上から挨拶されたほか、最後には本学の長澤俊彦学長が、「本学はこれまで八王子を中心にした社会貢献に努めてきたが、今後はいっそう八王子市と大学が一体となったまちづくりに協力していきたい」と抱負を述べて終了した。

このフォーラムには、一般参加者のほかに市議会から福安とおる議員と小林ひろゆき議員、中心市街地に立地する企業の経営者など八王子の政財界を代表する方も来賓として参加するなど、会場は終始熱気にあふれた雰囲気となった。さらに、終了後の懇親会でも関係者による熱心な意見交換が行われた。

本委員会ではこのフォーラムでの議論の結果をもとにして「住みやすく、遊びに行きたくなる街・八王子」として中心市街地の活性化を図れるような諸活動を関係者とともに展開していく計画である。また委員会は、今後とも本学がこうした地域関係者と協力し合いながら来年度以降も地域共創活動を継続・拡充していき、より幅広く社会に貢献できるような情報を学内外から集め、地域との連携をよりいっそう推進していく計画である。

<“地域共創”フォーラム概要>

- 基調講演：国際化社会における有機的なまちづくり
谷口 賢一郎 外国語学部 客員教授（1999 年度東北六県英語教育連絡協議会会長）
- パネルセッション第 1 部：文化・産業
コーディネーター 田中 信弘 総合政策学部 教授（経営学）
パネリスト 西川 古柳 氏（八王子車人形 五代目家元）
佐藤 広 氏（八王子市総合政策部市史 編纂室長）
富貴澤 繁幸 氏（八王子市市民活動推進部学園都市文化課 課長）
橋本 孝 氏（(株) 荒井呉服店 常務取締役）
岩崎 公生 外国語学部 教授（観光学）
- パネルセッション第 2 部：健康・人材育成
コーディネーター 金子 哲也 保健学部 教授（環境保健学）
パネリスト 尾崎 敏夫 氏
（八王子市健康福祉部次長・八王子市保健所保健総務課長）
北島 勉 総合政策学部 准教授（公衆衛生学）
大嶺 智子 保健学部 教授（健康教育学）
- 店舗出店協力：（有）町田園茶舗、（有）ゴンファノン



4. 2006～2007年度の八王子3学部・事務局主体による主な地域活動事例

(活動内容：1－5・⑤)

4－1. 講演会活動

4－1－1. 2006年度

<公開講演会>

- 9月1日
「広げよう市民ネットワークー地方自治に参加してみませんか」
進邦 徹夫（総合政策学部） 調布市文化会館
- 9月30日
「子どもの心の発達と、その支え方」
加藤 英世（保健学部） 調布市文化会館
- 10月14日
「ホテル選びのコツーホテルを知れば旅が2倍楽しめる」
岩崎 公生（外国語学部） 八王子学園都市センター
- 10月27日（金）
「ブーチン大統領の内政・外交をどう読むか」
斎藤 元秀（総合政策学部） 三鷹・大学院講堂
- 10月28日
「救急救命と命の教育ー子供たちの未来に救命が出来ることー」
櫻井 勝（保健学部） 八王子市学園都市センター
- 11月6日
「デンマークスタイル：生活・文化・日本との関係」
遠山 菊夫（外国語学部） 調布市文化会館
- 11月18日
「北欧神話のあしあとを訪ねて」
伊藤 盡（外国語学部） 八王子市学園都市センター
- 12月2日
「日本語おもしろ塾：摩訶不思議なことばの世界」
金田一 秀穂（外国語学部） 三鷹・大学院講堂

<公開講座（少人数形式）>

- 9月8、15、22、29、10月6日
「やさしく学ぶ簿記の初歩（全5回）」
千葉 洋・内藤 高雄・原田 奈々子（総合政策学部） 八王子市学園都市センター

- 11月10、17、24、12月1、8日
「シェイクスピアの世界(3)『マクベス』に見る魔界と人間界(全5回)」
川地 美子(元外国語学部) 八王子市学園都市センター
- 10月4、11、18日
「『百喻経』を読む(全3回)」
中村 信幸(外国語学部) 八王子市学園都市センター

<八王子市学園都市大学・いちよう塾一般講座(少人数形式)>

- 4月5、12、26日
「親と子のコーチング・コミュニケーション(健康科学講座)」
柳澤 厚生(保健学部) 八王子市学園都市センター
- 4月13、20、27、5月11、18、25、6月1、8、15、22、29、7月6、13日
「生命科学概論」
蒲生 忍(保健学部) 八王子キャンパス
- 4月20、27日、5月11、18、25日、6月1、8、15、22、29、7月6、13日
「人類遺伝学ーヒトの遺伝子変異ー」
岸 邦和(保健学部) 八王子キャンパス
- 5月9、23、30日
「ヒトの遺伝学(健康科学講座)」
岸 邦和(保健学部) 八王子市学園都市センター
- 5月13、7月1日
「救急災害医療(健康科学講座)ーその時あなたはー」
和田 貴子(保健学部) 八王子市学園都市センター
- 5月20、6月17、7月15日
「介護講座(健康科学講座)ー体の動かし方ー」
飯田 加奈恵(保健学部) 八王子市学園都市センター
- 6月7、14、28日
「睡眠と睡眠異常(健康科学講座)ー睡眠時無呼吸症候群ー」
石山 陽事(保健学部) 八王子市学園都市センター
- 7月7、14、21日
「高齢者に多い神経疾患(健康科学講座)」
小池 秀海(保健学部) 八王子市学園都市センター
- 10月4、11、18日
「地域もかかわる学校の健康文化づくり(健康科学講座)」
大嶺 智子(保健学部) 八王子市学園都市センター
- 10月5、12、19、26、11月2、9、16、30、12月7、14、21日
「生化学ー生命と物質ー」
太田 英彦(保健学部) 八王子キャンパス

- 10月5、12、19、26、11月2、9、16、30、12月7、14、21日
「細胞遺伝学」
関澤 浩一（保健学部）八王子キャンパス
- 10月6、13、20、11月10、17、24、12月1、8、15、22、1月12日
「人類遺伝学ークローン動物は親の生き写しになるか？ー」
岸 邦和（保健学部）八王子キャンパス
- 10月6、13、20、27、11月10、17、24、12月1、8、15、22、1月12日
「細胞生物学」
蒲生 忍・高見 茂・松本誠治（保健学部）八王子キャンパス
- 11月10、17、24日
「がんの生物学（健康科学講座）ー研究・医療と様々な心ー」
蒲生 忍（保健学部）八王子学園都市センター
- 11月11日
「心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）講習会ーあなたの手でつなげよう「救命の輪」ー」
和田 貴子（保健学部）八王子学園都市センター
- 12月1、15、22日
「過去・現在・未来の“私”（健康科学講座）」
下島 裕美（保健学部）八王子学園都市センター
- 12月8日
「『終生健康』のための運動（健康科学講座）」
下川 哲徳（保健学部）八王子学園都市センター
- 2月17、24、3月3日
「手軽にできる健康チェックと病院検査（1）（2）（3）（健康科学講座）」
坂内 久一・中竹 俊彦（保健学部）八王子学園都市センター

<そのほか講演会>

- 4月13日 [八王子プロバスクラブ・生涯学習サロンシンポジウム]
「魅力ある学園都市づくりにおける学生の役割とは」
岩崎 公生（外国語学部）エルシー八王子
- 1月30日 [多摩府中保健所・精神保健講演会]（府中、調布、狛江、武蔵野市など）
「うつ病の治療と対応について」
田島 治（保健学部）
- 随時 [市民大学・教育委員会・青年会議所など各所] 講演
金田一 秀穂（外国語学部）



4-1-2. 2007 年度

<公開講演会>

- 6月16日
「いのちのエンジニア：手術室のキーパーソン「臨床工学技士」の仕事とは」
中島 章夫（保健学部）三鷹・大学院講堂
- 7月3日
「6者協議の行方と日本の安全保障」
倉田 秀也（総合政策学部）調布市文化会館・たづくり
- 8月21日 [調布市近隣大学講座]
「日本語おもしろ塾：言葉はココロの鏡」
金田一 秀穂（外国語学部）調布市文化会館・たづくり
- 9月21日 [八王子いちよう塾]
「現代人の心のストレス：もうストレスで悩まない」
田島 治（保健学部）八王子市学園都市センター
- 9月29日 [調布市近隣大学講座]
「子どもの力を伸ばすコミュニケーション術」
柳澤 厚生（保健学部）調布市文化会館・たづくり
- 10月20日
「貧血から知る怖い病気：検査結果でわかる注意したい貧血の種類」
東 克巳（保健学部）三鷹・大学院講堂
- 10月29日 [調布市近隣大学講座]
「明日はあなたも裁判員！？」
岩隈 道洋（総合政策学部）調布市文化会館・たづくり
- 11月9日 [八王子いちよう塾]
「ロシアの再興とプーチン大統領の北東アジア政策」
斎藤 元秀（総合政策学部）八王子市学園都市センター
- 11月17日 [八王子いちよう塾]
「ゲルマンの英雄世界イングランドと北欧の伝説を詠う人々の心」
伊藤 盡（外国語学部）八王子市学園都市センター
- 12月1日 [八王子いちよう塾]
「異文化理解」を「体験」する：各国事情おもしろ体当たりレポート」
本田 弘之（外国語学部）八王子市学園都市センター

<八王子市学園都市大学・いちよう塾一般講座（少人数形式）>

- 4月5、12、19、26、5月10、17、24、31、6月7、14、21、28、7月5、12日
「人類遺伝学 ―ヒトの遺伝子異変―」
岸 邦和（保健学部）八王子キャンパス

- 4月5、12、19、26、5月10、17、24、31、6月7、14、21、28、7月5、12日
「生命科学概論」
蒲生 忍（保健学部）八王子キャンパス
- 4月6、13、27、5月11、18日
「アメリカを旅する」
熊谷 文枝（外国語学部）八王子市学園都市センター
- 4月9、16、23日
「血圧を考える」
嶋津 秀昭（保健学部）八王子市学園都市センター
- 4月10、17、24、5月1、8、15、22、29、6月5、12、19、26、7月3、10日
「アメリカ社会論－1」
熊谷 文枝（外国語学部）八王子キャンパス
- 4月14、21日
「いま話題のベトナムという国－ベトナムは日本に似た国で、今後が楽しみ－」
湯下 博之（総合政策学部）八王子市学園都市センター
- 4月19、26、5月10、17、24日
「医療をめぐる法律問題入門－賢い患者になるために－」
橋本 雄太郎（総合政策学部）八王子市学園都市センター
- 4月21、5月12、26、6月9、23日
「世界の名作を読む－読書の楽しみを再認識しませんか？－」
黒田 有子・楠家 重敏・詹 満江・原田 範行・長谷川 弘子（外国語学部）
八王子市学園都市センター
- 6月9、16、23、30、7月7、14、21日
「TOEIC 講座－400点から860点まで、あなたも100点は確実にアップ－」
高木 眞佐子（外国語学部）八王子市学園都市センター
- 6月12、19、26日
「中高年期女性の性と健康－40歳代からのウエルビーイング－」
柴田 眞理子（保健学部教授）八王子市学園都市センター
- 7月7日
「楽しい救急蘇生法の学び方」
和田 貴子（保健学部）八王子市学園都市センター
- 6月2日
「知って得する脳梗塞のお話－最近の専門治療から家庭で役立つ豆知識まで－」
前田 達浩（保健学部・医学部）八王子市学園都市センター
- 9月4、11、18日
「現代社会と子育て支援（健康科学講座）」
熊井 利廣（保健学部）八王子市学園都市センター

- 9月5、12、19日
「臨床検査－血液化学成分について－（健康科学講座）」
村椿 春博（保健学部）八王子市学園都市センター
- 9月19、26、10月3日
「百喻経」を読む－仏教經典にまなぶ智慧－
中村 信幸（外国語学部）八王子学園都市センター
- 9月21、28、10月5、12、19、11月2、9、16、30、12月7、14、21、25、1月11日
「生化学」
手塚 敏春（保健学部）八王子キャンパス
- 9月25、10月2、9、16、23、30、11月6、13、20、27、12月4、11、18、1月8日
「アメリカ社会論－2」
熊谷 文枝（外国語学部）八王子キャンパス
- 9月25、10月2、9、16、23、30、11月6、13、20、27、12月4、11、18、1月8日
「人類遺伝学－ヒトの遺伝子異変－」
岸 邦和（保健学部）八王子キャンパス
- 10月2、16、30日
「英語はなぜ難しいのか？－こうすれば英語ができる－」
谷口 賢一郎（外国語学部）八王子市学園都市センター
- 10月3、10、24、31、11月7日
「あなたの知らないアメリカ－歴史的視点から－」
熊谷 文枝・楠家 重敏・諏訪内 敬司・黒田 有子・高木 眞佐子（外国語学部）
八王子市学園都市センター
- 10月10、17、31日
「京ことば・文化－京都を学ぶ－」
玉村 禎郎（外国語学部）八王子市学園都市センター
- 10月15、22、29日
「療養高齢者の転倒と誤嚥事故防止（健康科学講座）」
川村 治子（保健学部）八王子市学園都市センター
- 10月19、26日
「早期発見のための乳がん検診方法」
中島 恵美子（保健学部）八王子市学園都市センター
- 10月23、30、11月6、13、20、27、12月4日
「シェイクスピアの世界（4）－「ヴェニスの商人」の解釈をめぐって－」
川地 美子（元外国語学部）八王子市学園都市センター
- 11月2、9、16日
「遺伝子と病気－ヒトゲノム解読の医療へのインパクト－（健康科学講座）」
清水 淑子（保健学部）八王子市学園都市センター

- 12月5、12、19日
「循環器病学概説－患者と向き合う医師の思考過程を公開－（健康科学講座）」
四倉 正之（保健学部）八王子市学園都市センター
- 12月15日
「楽しい救急蘇生法の学び方」
和田 貴子（保健学部）八王子市学園都市センター
- 1月11、18、2月1、8、15、22日
「やさしく学ぶ簿記の初歩－複式簿記のしくみを知ろう－」
千葉 洋・内藤 高雄・原田 奈々子・三沢 清（総合政策学部）
八王子市学園都市センター
- 1月21、28、2月4日
「豊かさの中の不安とうつを乗り越える（健康科学講座）」
田島 治（保健学部）八王子市学園都市センター

<そのほか講演会>

- 随時 [市民大学・教育委員会・青年会議所など各所] 講演
金田一 秀穂（外国語学部）
- 11月11日 [国立市保健センター主催・こころの健康の講演会]
「ストレス対処について」
田島 治（保健学部）
- 11月28日 [羽村市健康福祉課主催・こころの健康づくり講座]
「うつ病を知ろう」
田島 治（保健学部）
- 12月14日 [東京都保健所職員等エイズ専門研修]（東京都内保健所職員（医師、保健師等）
大木 幸子（保健学部）
- 12月17日 [東京都チューター保健師研修講師]
（東京都多摩地区の保健所の新人教育担当者向けの研修会講師）
大木 幸子（保健学部）
- 2月6日 [三鷹市社会福祉旧議会主催・精神保健ボランティア講座]
「精神障がいとは」
田島 治（保健学部）
- 2月16日 [国立市保健センター主催] こころの健康の講演会
「うつ病の初期症状と対応方法」
田島 治（保健学部）
- 2月22日 [八王子市役所職員文化研修]
「集客都市の視点からみる八王子の地域文化」
古本 泰之（外国語学部）

- 3月2日 [八王子学園都市文化ふれあい財団・コミュニティ研修講座]
「ITと外部からの視点を取り入れたコミュニティづくり」
野口 洋平・古本 泰之（外国語学部）

4-2. 教員・学生による地域交流活動事例

4-2-1. 健康福祉からのアプローチ

- 保健室補助、特別支援教育補助、養護教諭職務補助、障害児教育補助（通年：八王子市立加住小学校：保健学部）
- ボランティア派遣、入所者のケア（通年：戸吹育成園（知的障害者収容施設）：保健学部）
- CPR・AED 操作法と、救急時対応。教員対象に、ファーストエイドの対応の講演と、CPR・AED 操作法演習（毎年9～11月：八王子市立中学校：保健学部）
- 心の発達とその支援。電話相談担当者への講演とスーパーバイズ（毎年2月・スーパーバイズは適宜：NPO 子育てネット八王子：保健学部）
- 中高年齢者約 40 名を対象とした健康測定および運動指導（毎年7月下旬から9月上旬：三鷹市：保健学部）
- 多胎育児サークルの交流会として、年1回のツインズマーケット（講演会や、実体験の話し合い、子どもの年齢別母親同士の情報交換や、フリーマーケット）を開催（2006年より年1回：多摩地域：保健学部）
- 小さく生まれた子ども達の会『そらまめの会』の青空保育の機会に、保育ボランティアとして参加（2007年度：八王子市：保健学部）
- 多摩府中保健所主催の三鷹、武蔵野市民対象の精神保健相談（月1回：三鷹市健康センター：保健学部）
- 精神障害者のグループホームと作業所、生活支援センターを運営（社会福祉法人えりじあ・理事兼顧問医：保健学部）
- 三鷹市知的障害児施設での顧問医師（月1回程度夕方相談（不定期）：社会福祉法人にじの里：保健学部）
- 精神障害者作業所での顧問医師（相談に適宜応じる（不定期）：府中市・ドリーム工房：保健学部）
- 三鷹市を中心とした、調布市・府中市・八王子市・杉並区・中野区・練馬区等の極低出生体重児の家族が交流をしている（極低出生体重児育児支援サークル『ぴあんず』）間の保育を担当（年5回：医学部附属病院 10 階会議室：保健学部）
- 八王子学生委員会が主催した学生天国に参加し、HIV/AIDS に関する啓蒙活動を実施（2006年5月：総合政策学部）
- 八王子市主催の「That's 八王子学」でエイズピアエデュケーションに関して学生が提言（2006年12月：総合政策学部）

- 八王子学生委員会が主催した学生天国に参加し、HIV/AIDS に関する啓蒙活動を学生と実施（2007年5月：総合政策学部）
- 身近な水環境の全国一斉調査（谷地川探検隊として参加：保健学部）
- 全国調査、八王子の分担谷地川上流部（2006年6月、2007年6月：保健学部）
- 多胎育児自主グループ『ジェミニクラブ』（会員数32組~39組）の定例集会時の保育ボランティアとして学生と共に参加・活動を実施。ピクニック集会やクリスマス会等にも参加し交流（毎月1回：八王子市子安市民センター：保健学部）
- 事故予防・応急手当の講習会『いざという時のために』の開催（多摩地域の多胎育児中の親を対象とし、救急救命士課程の講師・学生の協力を得、毎年6月の第2または第3土曜日に開催：八王子キャンパス：保健学部）
- 学生が東京消防署長の要請で災害時支援ボランティアに協力（2005年～：学生部）

4-2-2. 教育からのアプローチ

- プールの水泳指導前：人工呼吸・心臓マッサージ、AED等指導（2006~2007年：八王子市内各小学校：保健学部）
- 八王子市少年・中学野球指導（2006~2007年：保健学部）
- （社）学術・文化・産業ネットワーク多摩を通じた、多摩地域市町村立小中学校での教育補助（2006年～）
- あきる野市立御堂中学校での教育相談ボランティア（2006年）
- ボランティア部による育児体験ボランティア（2006年～：学生部）
- 『クリーンキャンペーン』を通じた八王子キャンパス周辺の清掃（学生部）
- 山梨県甲府市・横浜市港南区での日本語ボランティア活動（外国語学部）
- 八王子市域24大学留学生日本語弁論大会審査委員（2006~2007年：外国学部）
- 八王子市域24大学留学生日本語弁論大会で学生が入賞（2006年・3名、2007年・2名：外国語学部）
- 小学校3~6年生を対象とした、学生・教員による英語活動の支援・児童英語教育活動実習の実施（2006~2007年度：八王子市立高倉小学校：外国語学部）
- 教員・学生5名が、中高校生約10人を対象に性のピアカウンセリングを実施。ロールプレイを通して、自分の気持ちを相手に伝えることを体験（2007年2月：こどものうち八栄寮（児童養護施設）：保健学部）
- 教員・学生3名による、児童養護施設の4歳~小学生対象の『いのちのお話し会』、施設職員対象の幼児期の性教育の勉強会を実施（2007年2月：こどものうち八栄寮：保健学部）
- 保健室補助、移動教室・臨海学校養護担当。教職課程学生派遣（6~8月：東京学芸大学附属小学校（大泉、世田谷、小金井）、附属高校：保健学部）
- 学生による定期健康診断の補助活動、訪問ボランティア（話し相手・遊び相手、保健関連資料整理）、体育大会補助、サタデースクール・モーニングスクール講師、部活動の指導、課外活動の補助（2006~2007年度：八王子市加住小・中学校：保健学部・学生部）

- あきる野市・昭島市の小中学校における留学生による「国際理解教育」の実施（2005年～：国際交流センター）
- 八王子学園都市文化課主催の各種国際交流事業への留学生の参加（国際交流センター）
- バトミントン部による加住中学校バトミントン部の指導（2007年：学生部）
- 八王子市立3中での英語教育ボランティア（2007年：学生部）

4-2-3. にぎわい創出からのアプローチ

- 東京都国立市の市民参加条例制定作業への参与（2002年8月～2005年12月：くにたち市民参加条例をつくる会・代表として：総合政策学部）
- 東京都国立市の第四期基本構想策定（2005年1月～10月：国立市第四期基本構想審議委員会・審議委員（起草委員会副座長）として：総合政策学部）
- 国立ボランティアセンターの運営、事業計画の企画立案等（運営委員会委員 2003年4月～現在・副委員長 2005年4月～2007年3月・委員長 2007年4月～現在：総合政策学部）
- 台湾・高雄市と八王子市との友好都市提携に伴う高雄市関係者の八王子訪問における学生の通訳活動（2007年8月：外国語学部）
- 本学吹奏楽団の慰問演奏（7、11月：演奏市内養護老人ホーム、障害児施設など：保健学部）
- 「八栄寮」における寮祭手伝い、入寮者へのスポーツ指導（2007年5月3～5日：外国語学部）
- 日野市主催のイベント「藝術文化の薫るまち 村上敏明と歌う「第九」」に、TAMA21交響楽団員として参加（2007年2月：保健学部）
- 八王子まつりに清掃ボランティアとしてゼミ生が参加（2006～2007年：外国語学部）
- 八王子市主催第2回『学生と市長とのふれあいトーク』にゼミ生が『はち袋で伝える八王子らしさ』のテーマで出場、優秀賞を獲得（2006年12月：八王子市学園都市センター：外国語学部）
- 八王子市主催第2回『学生と市長とのふれあいトーク（That's 八王子学）』にゼミ生が『八王子観光資源の再構築』のテーマで出場、優秀賞を獲得（2006年12月：八王子学園都市センター：外国語学部）
- 八王子市主催第3回『学生と市長とのふれあいトーク（That's 八王子学）』でゼミ生がフリーマーケットに関する提言（2007年12月：八王子学園都市センター：総合政策学部）
- 八王子市主催第3回『学生と市長とのふれあいトーク（That's 八王子学）』にゼミ生が『八王子を「若者が集う」街にするために－デートの視点から－』のテーマで出場、最優秀賞を獲得（2007年12月：八王子学園都市センター：外国語学部）
- 八王子市主催「市長タウンミーティング」にゼミ生18名とともに参加（2007年6月：川口市民センター：外国語学部）
- 道の駅八王子滝山（八王子市産業振興部管轄）運営委員（2007年12月～：外国語学部）
- 利用者向け観光案内サービスとして「観光コンシェルジュ」デスクを設置し、ゼミ生16名が実験サービスに参加（2007年12月：「道の駅八王子滝山」内交流ホール：外国語学部）

- 杏園祭でフリーマーケットを行い、地域の方3組が出店（2007年10月：総合政策学部）
- 八王子市が主催する『げんきフォーラム：魅力ある観光都市をめざして～高尾に外国人観光客を～』に公募市民の代表パネリストとしてゼミ生が参加（2007年12月：外国語学部）
- （社）八王子観光協会主催のミニバスツアー『春うらら号』におけるキャンパスツアー受入、保健学部による講演実施（2007年～：入学センター）
- 八王子市が市内高等教育機関の初年時生対象に配布する、市の紹介誌の一部をゼミ生が作成・編集（2008年3月：外国語学部）

5. 次年度以降の課題

これまで2年間の活動をふまえ、次年度以降の本学における地域交流の課題を以下に挙げる。

① 講演会以外の活動の活発化促進

講演会の本数は非常に多いものの、実際に地域の現場に出て活動する機会は3学部全体ではまだ少ないといえる。委員会として八王子キャンパス周辺地域での研究・教育活動を促進していく必要がある。

② 各学部における個別の地域交流活動の整理・委員会としての支援

2年間の活動を通じて、八王子キャンパス3学部・各事務部署が取り組んでいる地域交流活動のとりまとめを行ったが、十分な結果には到達しなかった。今後も引き続きとりまとめ作業を行うと共に、委員会として既存の取り組みを積極的に支援していく必要があるが、現在の委員会・支援室の人的リソースの数では十全な支援を行うには不足していると考ええる。

③ 各学部の教育・研究内容に適合した地域交流のあり方の模索：教育活動との連携強化

学部の教育・研究内容の性質によって地域交流活動に対する考え方が異なる部分があり、各学部において「学部の特性を生かした」地域交流活動を積極的に創出していくことが求められる。

また、本学の地域交流活動は教員の研究の延長、あるいは関係機関からの要請に応じたものが多く、これからはそれらの活動を「教育」にどうつなげていくかが検討課題である。

④ 3学部協働による新規地域交流事業の開拓

中長期提言にある「特色ある総合大学」という目標を達成するためには、八王子キャンパス3学部・各部署の横断的な協力による新規地域交流事業を実施することが不可欠であるが、現段階では達成されていない。

⑤ “地域共創”フォーラム 2008 の実施

本委員会・地域交流支援室の学内・学外における認知度は低い状況にあると言わざるを得ない。2007年度に実施した“地域共創”フォーラムを2008年度以降も実施（内容を改善して）することを通じて、本学の地域交流活動をより活発化することが求められる。

⑥ 八王子市以外のキャンパス周辺地域での地域交流活動の推進

八王子市内には相当数の高等教育機関が存在し、それぞれが地域交流活動に取り組んでいるため、本学の可能性を十分に生かし切れないリスクがある。今後は八王子市以外のキャンパス周辺地域（あきる野市、福生市、青梅市など）における地域交流活動も視野に入れる必要がある。

6. 2006～2007 年度 杏林大学地域交流委員会メンバー

委員長：遠山 菊夫（外国語学部 教授）

委員：島 幸夫（保健学部 准教授）

進邦 徹夫（総合政策学部 准教授）

古本 泰之（外国語学部 講師）

樋田 孝史（大学事務部長・八王子事務部長）

岡 滋三（広報企画調査室 副室長）

上野 修（地域交流支援室 課長）

照井 和尋（地域交流支援室 課長補佐）